

Exhibition Bridge & Civil engineering of Tokyo

東京橋と土木展

昭和の橋

同時開催：
土木コレクション 2018

入場無料



音無橋(1931年、昭和6年) 北区



奥多摩橋(1939年、昭和14年) 青森市



東秋留橋(1939年、昭和14年) 青森市



千登世橋(1933年、昭和8年) 豊島区



音無橋(現在)



奥多摩橋(現在)



東秋留橋(現在)



千登世橋(現在)

PLAN

2018.11.20(火)→11.23(金)
新宿駅西口広場イベントコーナー

開催時間／AM.8:00～PM.21:00

※初日は13:00から、最終日は17:00まで

主催：東京都建設局 お問い合わせ：東京都建設局道路管理部保全課

Tel.03-5320-5295

東京都建設局

戦前に架けられた橋の姿をお楽しみ下さい。

2011年から始まった「東京の橋パネル展」から通算し、「東京 橋と土木展」は8回目の開催となります。これまでは「明治・大正の橋」「震災復興の橋」「隅田川の橋」などをテーマに取り上げて来ましたが、今回は「昭和の橋」に焦点を当てて展示を行います。

多摩川の丸子橋・氷川大橋や、北区の音無橋、豊島区の千登世橋など14橋の青焼き図面や、多摩川の大師橋や関戸橋、隅田川の小台橋や尾竹橋など41橋の当時の写真を展示します。

郡部(区部周辺地域)の橋

今日では23区に含まれる新宿や豊島区など、当時は郡部であった地域の宅地化が進みました。今日でも多くの交通を支えている名橋も、この時代に東京府により架設されました。



目黒新橋(1933年、昭和8年) 目黒区 目黒通り *現存



西郷橋(1937年、昭和12年) 目黒区・渋谷区 *現存



田端大橋(1935年、昭和10年) 北区 *現存

県境の橋

輸送が自動車に転換されるようになり、周辺各県へ通じる街道に架かる橋も鉄橋化が図られるようになりました。



丸子橋(1934年、昭和9年) 神奈川県との県境(多摩川) 大田区・川崎市



戸田橋(1932年、昭和7年) 埼玉県との県境(荒川) 板橋区・戸田市



浦安橋(1940年、昭和15年) 千葉県との県境(江戸川) 江戸川区・浦安市

多摩地域の橋

道路整備が遅れていた多摩地域でも道路の新設や拡幅が行われました。特に青梅市や奥多摩町など多摩川の上流部では、様々な構造の橋が架設され、奥多摩の「橋の展览会」ともいえるバラエティーに富んだ橋梁群が造られました。



棚沢橋(1932年、昭和7年) 奥多摩町



氷川大橋(1933年、昭和8年) 奥多摩町 *現存



弁天橋(1933年、昭和8年) 奥多摩町



笹平橋(1933年、昭和8年) 奥多摩町



調布橋(1935年、昭和10年) 青梅市



御岳橋(1930年、昭和5年) 青梅市